

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆書	隷書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期			
早	ソウ はやい はやまる はやめる		早 睡虎地秦簡	昂 説文・日部	早早 武威医簡	早 曹全碑	早 智永千字文	早早早 鄭義下碑 化度寺碑 九經・日部	早 麿野指歸			
			𠄎 中山王鼎									
易	エキ やさしい	易 甲骨 易 金文	易 睡虎地秦簡	易 説文・易部	易 馬王堆	易 曹全碑	易 王獻之	易 集字聖教序	易 敬史君碑	易 孟法師碑	易 五經・序	易 杜家立成
		𠄎 大孟鼎	𠄎 中山王鼎		𠄎 敦煌漢簡	𠄎 張遷碑	𠄎 智永千字文	𠄎 鄭義下碑				𠄎 杜家立成
												𠄎 長安新羅碑
旺	オウ さかん							旺 五經・日部				旺 中・台・香
睪	オウ		睪 説文・日部									睪 中国・台湾 香港
昂	コウ あがる たかい		昂 新附・日部			昂 興福寺斷碑	昂 元瑛墓誌	昂 泉男生墓誌				昂 中国・台湾
昂												昂 香港
昏	コン くらくら くらくれ	昏 甲骨	昏 郭店楚簡	昏 説文・日部	昏 馬王堆	昏 唐・書譜	昏 集字聖教序	昏 比丘干墓文	昏 化度寺碑			昏 王勃詩序
昏				昏 居延漢簡				昏 道因法師碑				昏 性靈集
昆	コン あに	昆 金文	昆 睡虎地秦簡	昆 説文・日部	昆 馬王堆	昆 張遷碑	昆 智永千字文	昆 集字聖教序	昆 元暉墓誌	昆 九成宮		昆 王勃詩序
				昆 居延漢簡		昆 孟璇殘碑						昆 中国
				昆 武威漢簡								昆 台湾
												昆 香港

【旺】2010年(平成22年)に常用漢字表に追加された。「睪」を異体字とする資料がある。

【昆】1981年(昭和56年)に当用漢字表外から常用漢字表に追加された。

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん ころ	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
早	早	早	早	早			早	早	早	早	早	早 中・台・香
早	早											
易	易	易	易	易			易	易	易	易	易	易 中・台・香
旺	旺	旺	旺				旺					旺 中・台・香
昂	昂	昂	昂	昂								昂 中国・台湾
昏	昏	昏	昏	昏			昏					昏 中国・台湾
昆	昆	昆	昆	昆			昆					昆 中国

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆書	隷書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
昇	ショウ のぼる 常①		昇			昇	昇	昇	昇
昇	③		昇						昇
升									昇
昌	ショウ さかん 人①		昌	昌	昌	昌	昌	昌	昌
			昌	昌	昌	昌	昌	昌	昌
			昌	昌	昌	昌	昌	昌	昌
昔	セキ ジャク むかし 教3常①		昔	昔	昔	昔	昔	昔	昔
昔			昔	昔	昔	昔	昔	昔	昔
昔			昔	昔	昔	昔	昔	昔	昔
明	メイ・ミョウ あかり・あか るい・あかるむ ・あからむ・あ まらか・あける ・あく・あくる ・あかず 教2常①		明	明	明	明	明	明	明
明	④		明	明	明	明	明	明	明
			明	明	明	明	明	明	明
映	エイ うつす うつる はえる 教6常①		映	映	映	映	映	映	映
映	②		映	映	映	映	映	映	映

【昇】説文不録で新附で取り上げられた字。南北朝よりも前の使用例が見つかからないので説文で不録になるのも頷ける。説文新附の字体に従った例が見えない。段注本では「升」をあげている。

【昌】九經字様は説文の字体に従って下の「日」の左上を空け

ている。
【明】説文解字と康熙字典で秦篆と古文の字体が逆。岩田母型製造所は「月」の横線が縦線に接していない字体を旧字体、横線が縦線に接している当用漢字字体表の字体を新字体と認識していたようだ。

平安中期 から 室町	江戸版本 1716年 部首・画数	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん こころ	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
昇	昇	昇	昇				昇	昇		昇		昇
昇	昇											昇
昇	昇											
昌	昌	昌	昌				昌					昌
昌	昌											
昔	昔	昔	昔	昔			昔	昔	昔	昔		昔
昔	昔											
昔	昔											
明	明	明	明	明	明		明	明	明	明		明
明	明											
明	明											
映	映	映	映	映	映		映	映	映	映		映
映	映											映

【映】説文不録で新附で取り上げられた字。南北朝よりも前の使用例が見つかからないので説文で不録になるのも頷ける。

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆書	隸書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期			
書	ショ かく											
教2 帯①		金文	睡虎地秦簡	泰山刻石	居延漢簡	乙瑛碑	七月帖	集字聖教序	元纂墓誌	孔子廟堂碑	五経・又部・汲冢	風信帖
		金文	説文・聿部	居延漢簡	礼器碑	十七帖	太観帖	孫秋生造像	九成宮	五経・又部・石經		風信帖
		春秋・侯馬盟書				王献之	王献之	東晋・麴子碑				風信帖
晋	シン すずむ											
人①		甲骨	戦国・金文	説文・日部	銀雀山竹簡	樊敏碑	隋・智永千字文	集字聖教序	王新詔所認	孔子廟堂碑	五経・日部・石經	麴子指歸
		殷・金文	戦国・郭店楚簡	段注・日部	馬王堆	甘陵相残碑	唐・書譜	王献之	張猛龍碑		五経・日部・汲冢	
						張遷碑		鄭義下碑				
晦	カイ くらい みそか											
人①		甲骨	睡虎地秦簡	説文・日部	馬王堆	曹全碑陰	隋・智永千字文	集字聖教序	元植墓誌	雁塔聖教序		麴子指歸
晓	ギョウ あかつき											
常①				説文・日部		石門頌		元頭魏墓誌	皇甫誕碑			聖武天皇雜集
								馬鳴寺觀法師碑	道因法師碑			瑠玉集
景	ケイ											
教4 帯①			説文・日部	馬王堆	曹全碑	淳化閣帖	張猛龍碑	孔子廟堂碑	干祿字書	王勃詩序		干祿・通
								九成宮				麴子指歸
								孟法師碑				

【書】「書」は本書が参照している『JIS漢字字典』では「日」部に分類されているが、他の字典には「日(いわく・ひらび)」部に分類、「聿(いつ・ふでづくり)」部に分類、「日・日」を一緒にした部首に分類、と4種類の分類がある。説文解字は「聿」に分類、康熙字典は「日」に分類、五経文字は「又」に分類

している。五経文字は「聿」を手で筆を持つ形とし手を「又」と解釈して「又」部に分類したのだろう。
【晦】JIS2004で例示字体が「晦」から「晦」に変更され、画数が一画増えた。
【景】「景」の「口」を「日」にした字体が多く見られる。

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん こころ	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
												書
粘葉本朗詠	歴世女装考	日6		こころ	陸軍							中国
												書
粘葉本朗詠	農家調宝記											台湾・香港
粘葉本朗詠	四季往来											
												晋
太田切		日6			陸軍							中国
												晋
太田切		日6										台湾
												晋
粘葉本朗詠		日12										香港
												晦
粘葉本朗詠	農家調宝記	日7										中国・台湾
												晦
関戸本朗詠	女庭訓往来											香港
												晓
関戸本朗詠	北窓瑣談	日12										中国
												晓
関戸本朗詠	七夕											台湾・香港
												景
粘葉本朗詠	節用	日8		こころ								干祿・通
												景
粘葉本朗詠	女用文章											香港